

警察の情報通信部門における災害対応 (機動警察通信隊の活動)



東北管区警察局
岩手県情報通信部

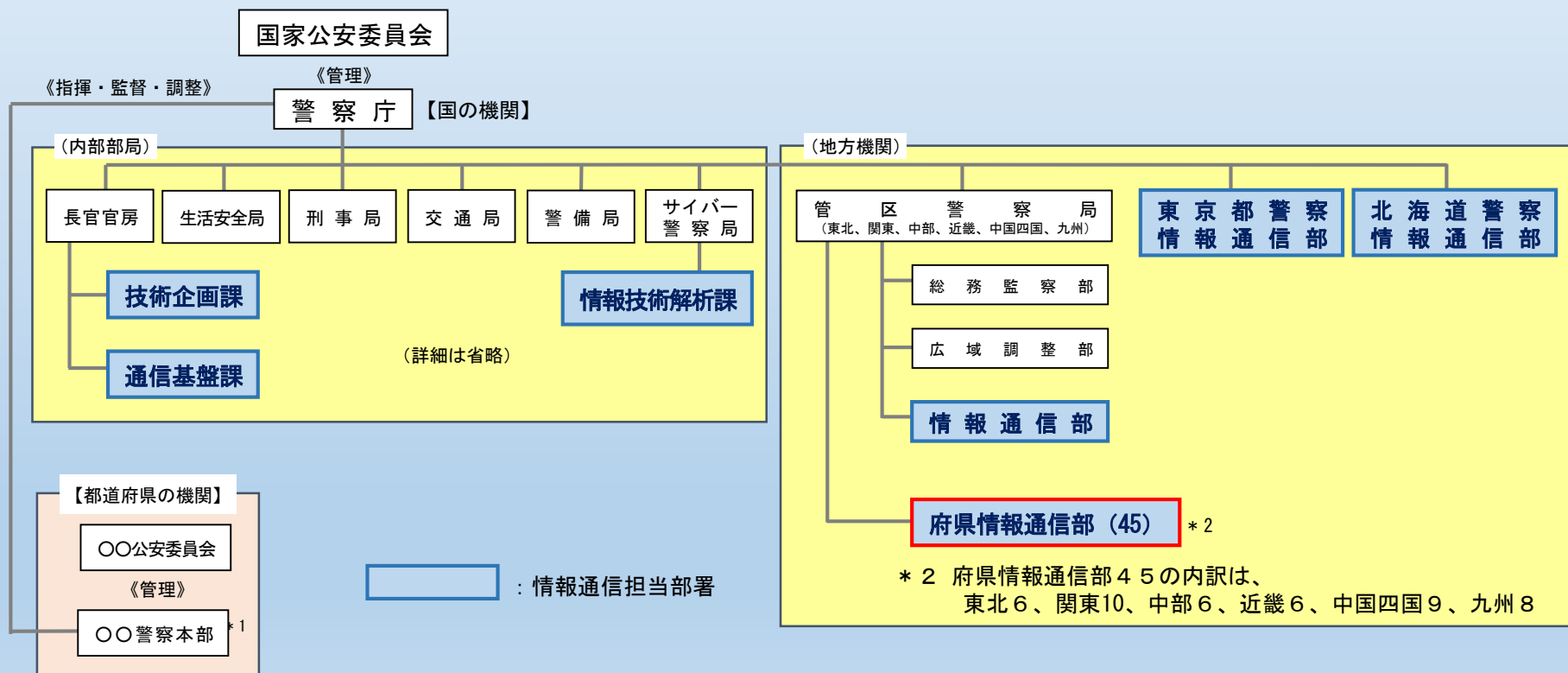
本日の内容

- 1 警察の情報通信の組織
- 2 警察の通信システム
- 3 機動警察通信隊
- 4 情報通信部における災害対策

警察の情報通信の組織

警察庁には、警察の技術政策の司令塔として先端技術や情報システムの導入等を担う**技術企画課**、警察の全国的な通信インフラの整備、運用等を担う**通信基盤課**、情報技術の解析を担う**情報技術解析課**が設置

管区警察局等の地方機関に設置された**情報通信部**及び**府県情報通信部**は、警察庁と緊密に連携し、各地域における警察の通信インフラや情報システムの整備、運用等を実施

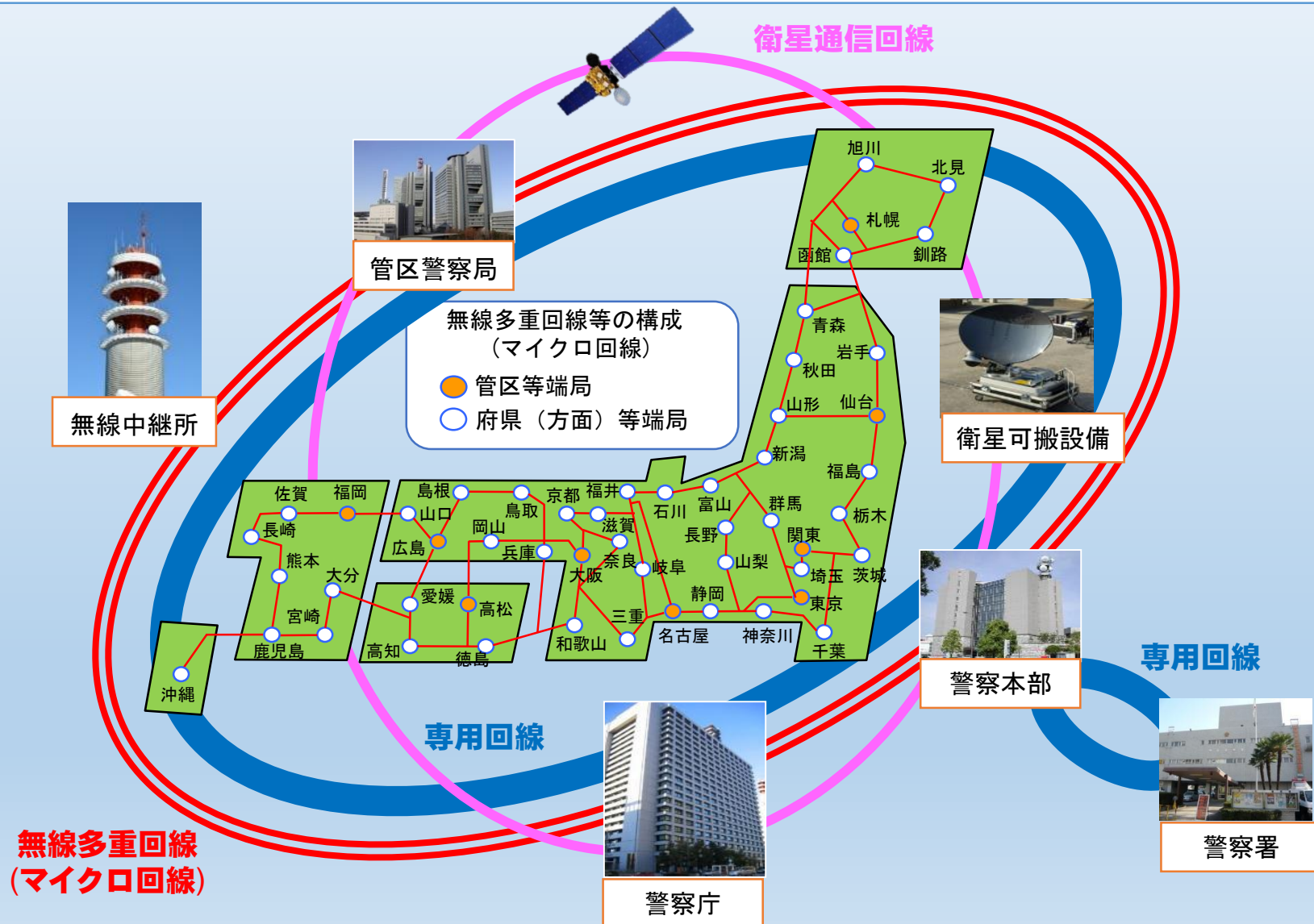


* 1 東京都には警視庁を、道府県には道府県警察本部を置く。

* 2 府県情報通信部 45 の内訳は、東北 6、関東 10、中部 6、近畿 6、中国四国 9、九州 8

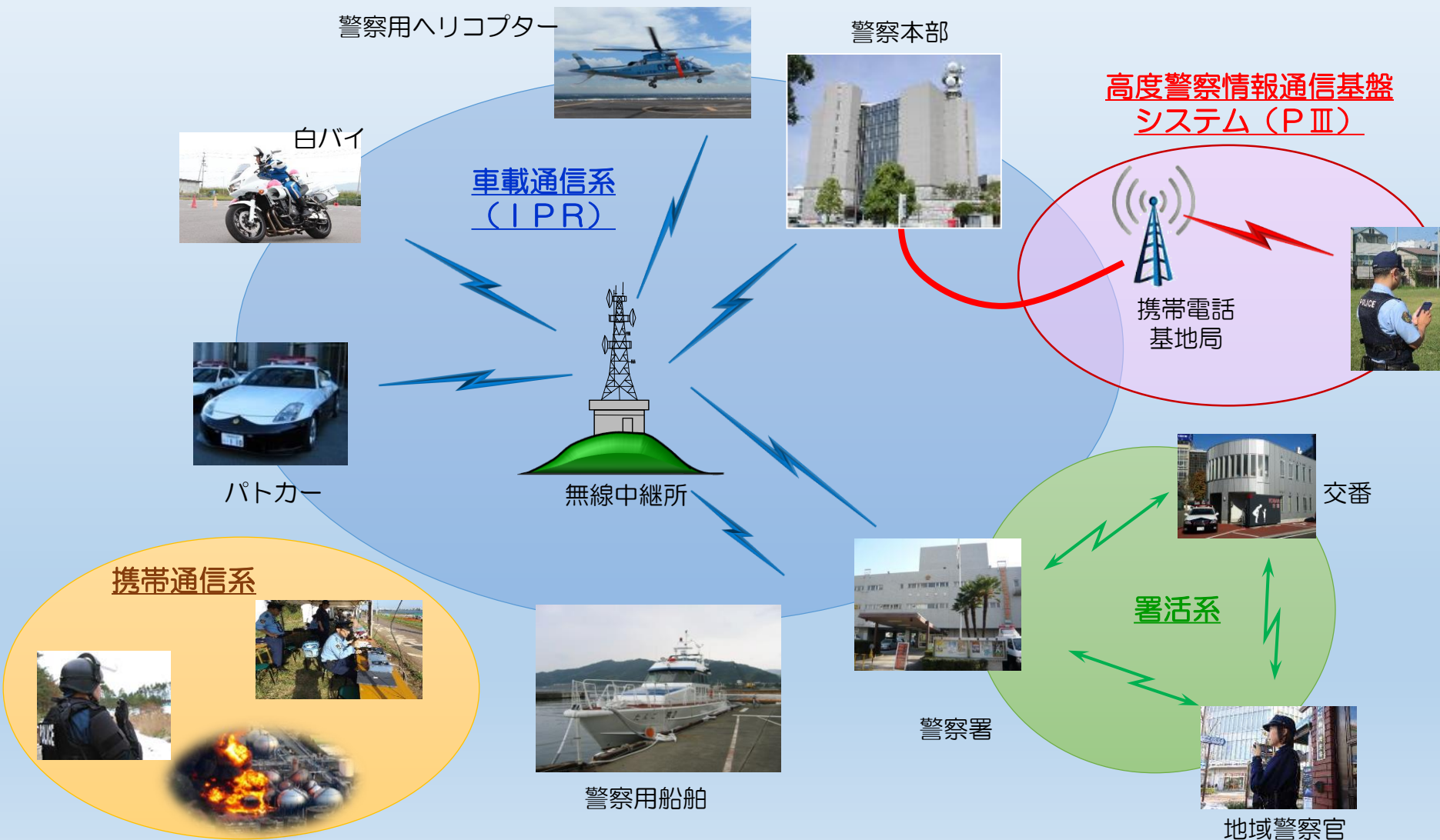
警察基幹通信網

情報伝達の要となる「警察基幹通信網」を**独自に整備・維持管理**し、警察庁から管区警察局、都道府県警察本部、警察署、交番等を全国的に結んでいる



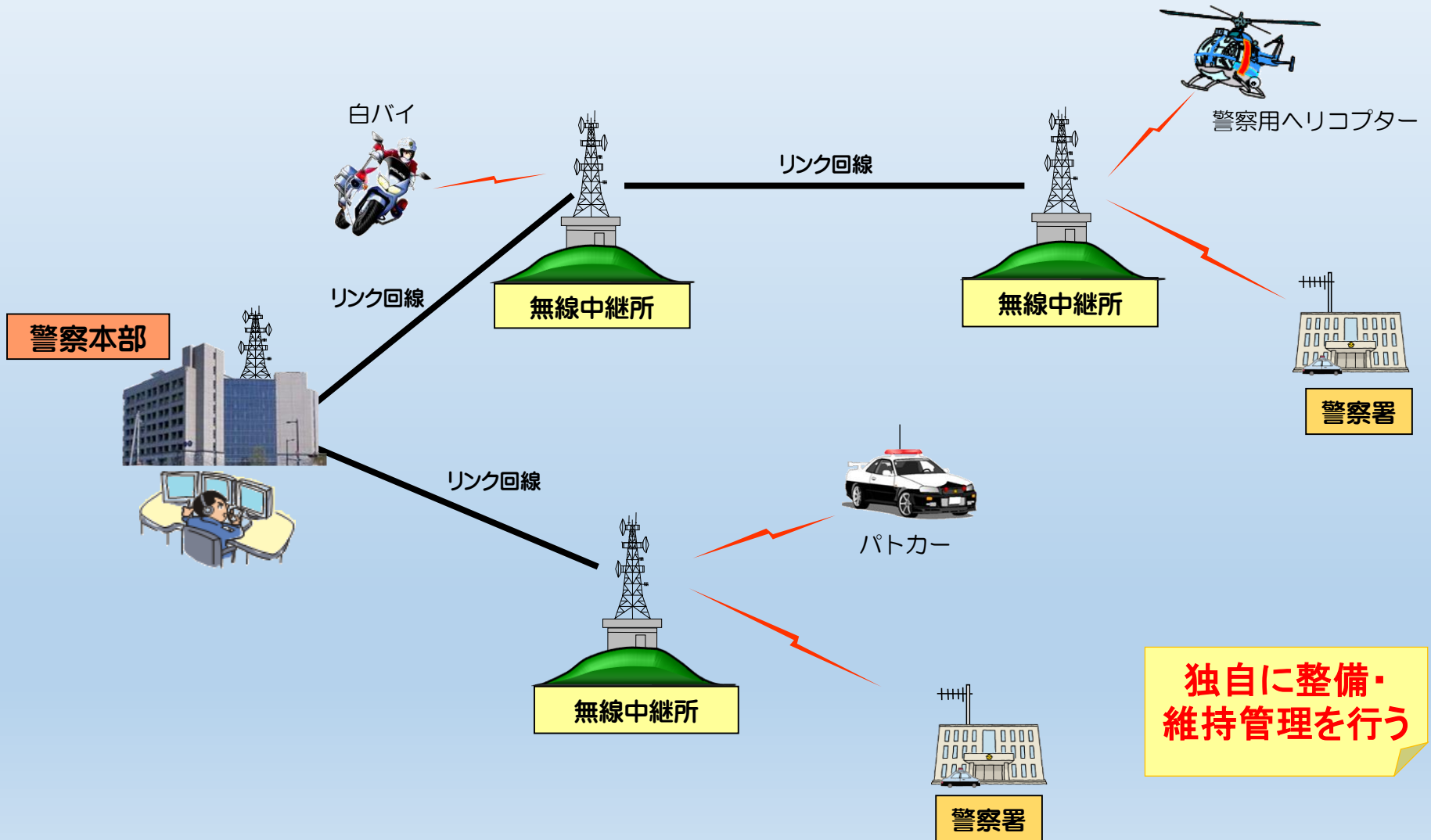
移動通信システム

移動通信システムには、独自で整備・維持管理を行っている車載通信系 (IPR)、署活系及び携帯通信系のほか、民間の携帯電話回線を活用した高度警察情報通信基盤システム (P III) があります。



車載通信系

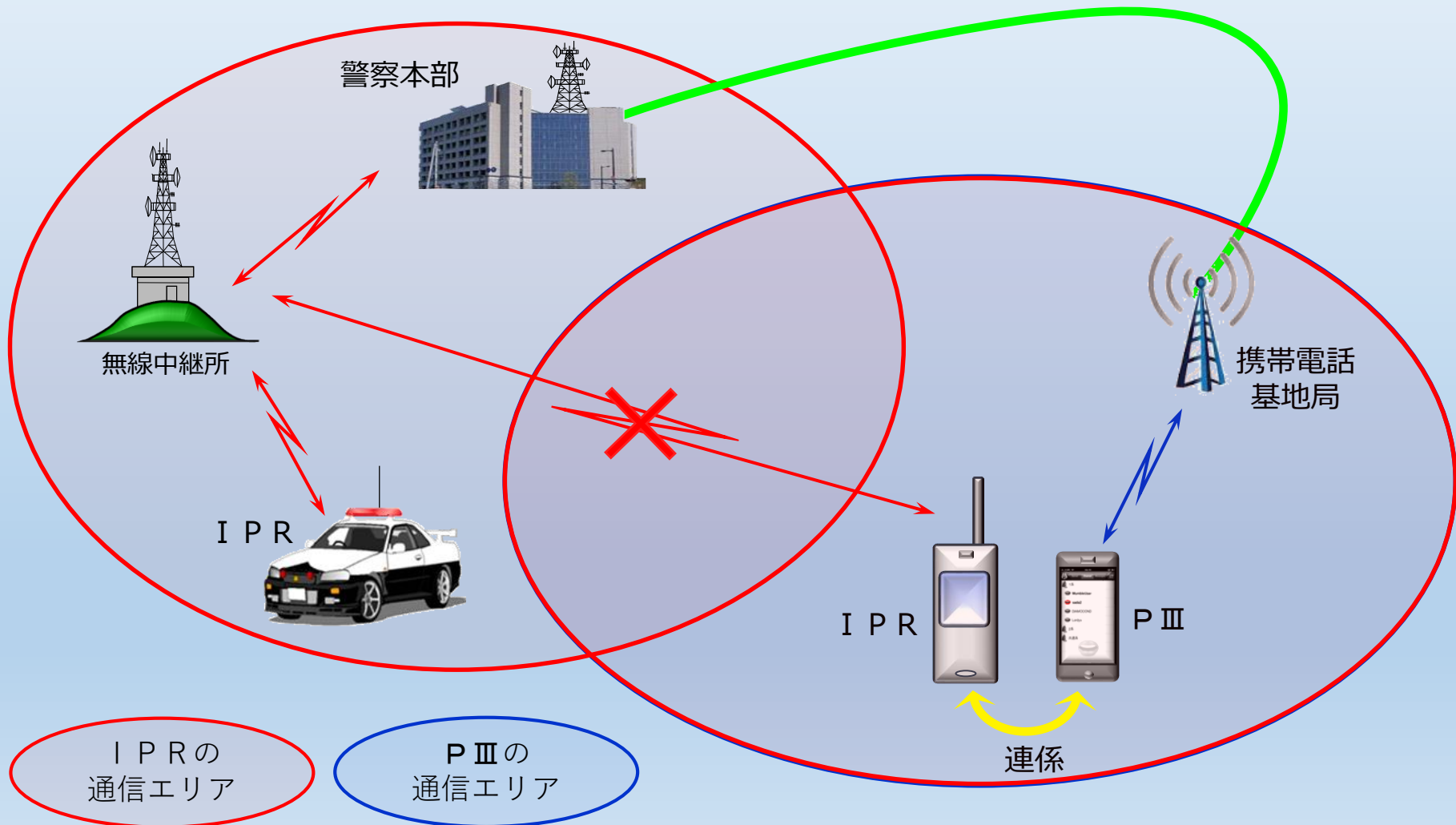
警察本部の通信指令室を中心として、パトカー、白バイ、警察用ヘリコプター、警察用船舶、警察署等との通信に都道府県単位で利用



高度警察情報通信基盤システム

高度警察情報通信基盤システム（PⅢ）：ポリストリプルアイは、民間の携帯電話回線を利用したシステム。車載通信系（IPR）との関係により、IPRの通信エリアを拡張

※PⅢ（Police Integrated Info-communication Infrastructure）



警察活動における無線は

空

気

と同じ

故障や災害等による影響を最小限に抑えるため、システムの冗長化や有事の際の対処体制を構築し耐災害性を確保

24時間365日維持・管理を実施

機動警察通信隊

機動警察通信隊は、全国の情報通信部に設置

任務は、**現場の警察活動の基盤となる通信の確保**

- ・災害又は事故が発生した場合
- ・警衛・警護警備や雑踏警備等を実施する場合
- ・犯罪の捜査を行う場合

等に、警察本部と現場警察官との間の指揮命令や連絡等が円滑に行われるよう、無線通話の確保、現場映像の撮影・伝送等を実施

また、無線中継所等の警察通信施設の機能の維持も実施



事故現場における現場活動状況の映像撮影・伝送



犯罪捜査における衛星通信車を活用した情報通信対策



無線中継所停電に伴う警察ヘリを活用した資機材運搬



災害現場における無人航空機型映像撮影伝送システムの運用

東日本大震災における活動の一例

津波による停電が発生

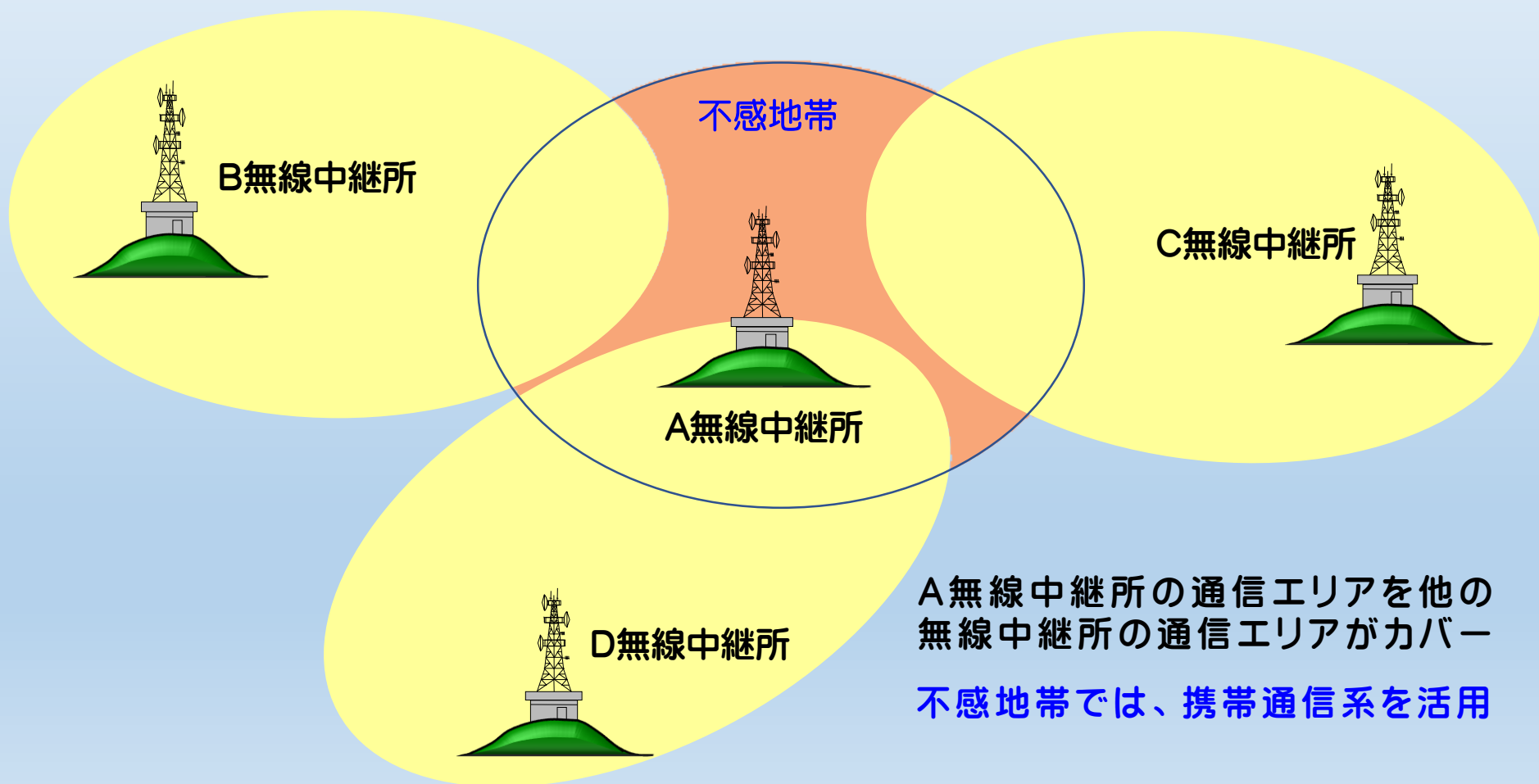
- ✓ 甚大な被害を受けた沿岸地域を通信エリアとするA無線中継所にはバッテリー設備はあるが、発電設備はない
- ✓ 電力を確保するためには、発電機と燃料をA無線中継所まで運搬しなければならない
- ✓ がれきによる一般道路の封鎖や崖崩れによって上山道路が寸断され、車等による運搬が極めて困難
- ✓ バッテリーでの運用可能時間は約30時間

◆警察用ヘリコプターで運搬◆



職員と発電機を運搬(燃料は不可)

職員と発電機（発電）は停電から約48時間後にA無線中継所に到着





震災がれきの中を・・・



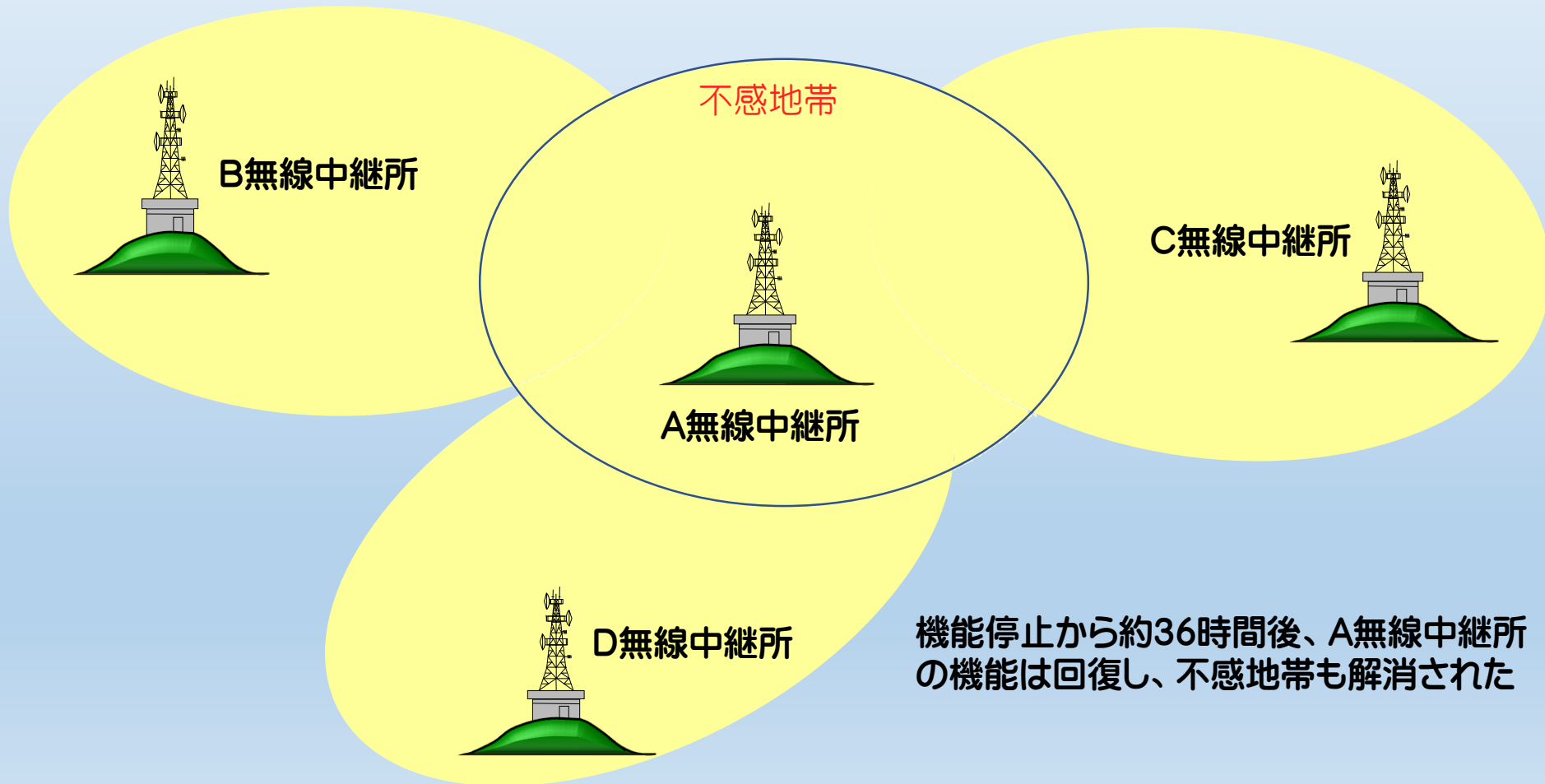


寸断された上山道を・・・



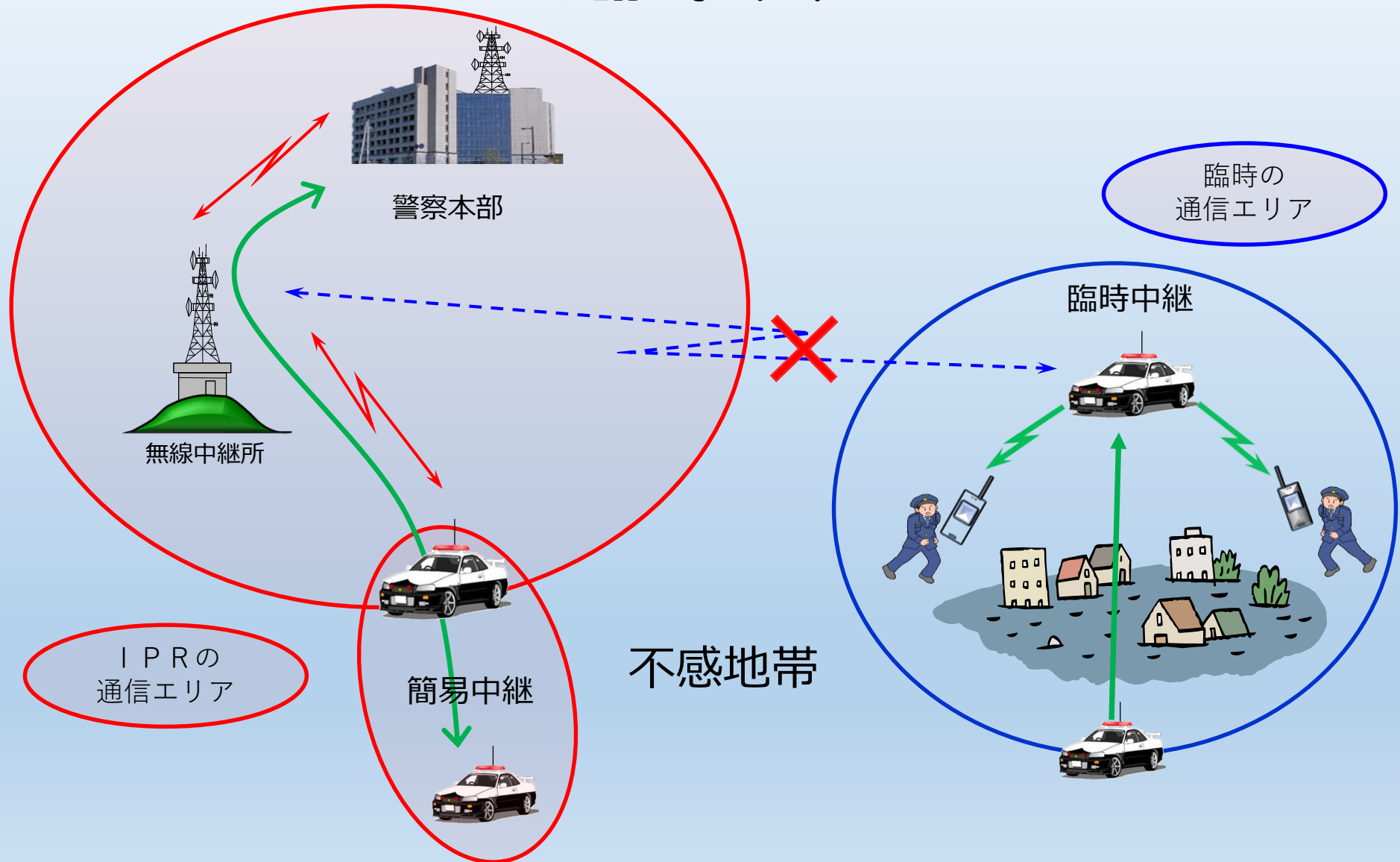
道なき道を・・・

燃料は、職員、発動発電機到着から 約19時間後にA無線中継所に到着



機能停止から約36時間後、A無線中継所の機能は回復し、不感地帯も解消された

IPRの新機能 (臨時中継)





震災がれきの中を・・・





寸断された上山道を・・・

道なき道を・・・



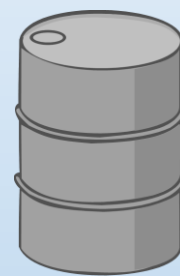
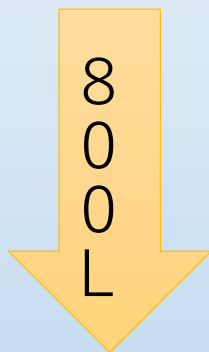
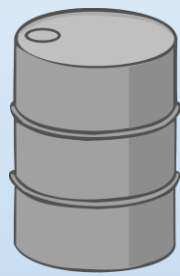
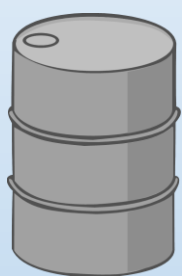


時には積雪の中を・・・

燃料を背負い徒歩で・・・



復電までの1ヶ月半発動発電機
の燃料等を運び続けた



警察無線のみが機能を維持

災害現場における通信を確保



東日本大震災一機能保った警察無線

「命綱」守れ！

各地の災害対策本部に設置された警察無線は、被災状況の伝達や物資の要望などに活用された。**自治体間の情報共有**でも**威力を発揮**。警察官が発見した孤立集落の状況がすぐに自治体に伝えられたケースもあった。

平成23年3月26日
山形新聞

救出作業に当たったレスキュー隊などと比べ、**日の当たらない任務**だが、災害時に備えての登山や雪中行軍の**訓練は欠かさなかった**。中野国
家公安委員長は、25日の記者会見で「不眠不休の作業に敬意を表したい」とたたえた。

岩手で
警察職員
山に泊まり込み

<https://www.tohoku.npa.jp/kohou/shuki.pdf>



東日本大震災 警察通信活動の記憶

～被災地で人命救助に従事する警察官を支えた
情報通信職員の手記集～

東北管区 手記

検索



東北管区警察局
シンボルマーク

東日本大震災時、被災地で人命救助や治安維持活動に従事する警察官の陰で、その活動を支えるため、警察活動の神経系統である警察通信機能を一秒たりとも途絶えさせないように不眠不休で活動した情報通信部の職員がいました。

東北管区警察局



菊地光一 停電

🔍 検索

3.11の停電下で東北の警察無線を燃料を運んで死守した

2022/1/25 東北管区警察局情報技術解析課長 菊地光一さんは、東日本大震災当時、東北管区警察局情報通信部の技術専門官でした。同部は東北6県の県警本部や警察署を……

防災ニッポン

岩手県情報通信部災害通信対策要領（R5. 6. 12改定）

- 第1 参集基準
- 第2 招集基準
- 第3 各職員の参集（招集）：（ルート、所要時間、場所）
- 第4 招集方法
- 第5 安否確認
- 第6 初動対応時の任務：（当直者、参集者）
- 第7 機動警察通信隊の活動計画（情報収集、資機材確保等）
- 第8 緊急通行車両等の事前届出等
- 第9 ハザードマップ：（地震、津波、火山、原子力等）
- 第10 各警察通信施設の個票
- 第11 警察施設の代替庁舎（本部、警察署）
- 第12 大規模災害掲示板の運用
- 第13 管区及び警察庁への報告
- 第14 他機関と締結した協定書等（ガソリン、電力供給等）

参(招)集基準

対象事案	対象者	対象事案認知時の措置
<ol style="list-style-type: none"> 1 岩手県内において、 震度 6 弱以上の地震が発生したとき 2 岩手県内において、 大津波警報が発表されたとき 3 岩手県内において大規模な災害が 発生又は発生が予想される場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者は自発的に参集すること。
<ol style="list-style-type: none"> 1 岩手県内において、 震度 5 強の地震が発生したとき 2 岩手県内において津波警報が発表 されたとき 3 管区内（岩手県を除く）において、 震度 6 弱以上の地震が発生したとき 又は大津波警報が発表されたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機動通信課長 ・ 機動通信課長補佐 ・ 通信現業管理官 ・ 災害通信対策係長 ・ 資材係主任 ----- ・ 機動警察通信隊員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者は自発的に参集すること ・ 対象者のうち、機動警察通信隊員は連絡の取れる態勢を整えるなど所在を明確にし、自宅等で応招待機とする。

1 参集ルート及び参集所要時間

対策本部等要員 ○

所属・職名	岩手県情報
住所	盛岡市大
連絡先	携帯電話 メールアドレス

参集ルート略図(メインル



参集場

メインルートでの距離

メインルートでの所要時間	(徒歩) 時間 15 分	(自転車) 時間 08 分
予備ルートでの距離	1.0 km	
予備ルートでの所要時間	(徒歩) 時間 15 分	(自転車) 時間 08 分

1 参集ルート及び参集所要時間

対策本部等要員 -

氏 **記載例**

入電話
帳に登録済み
青実線で記入)



8 km

メインルートでの所要時間	(徒歩) 1 時間 12 分	(自転車) - 時間 36 分
予備ルートでの距離	5.1 km	
予備ルートでの所要時間	(徒歩) 1 時間 17 分	(自転車) - 時間 39 分

◆現場対処能力の強化・練度の向上◆

○ 災害対策訓練

広域緊急援助隊合同訓練、燃料搬送訓練、
体力錬成訓練、現場映像伝送訓練、
高所作業訓練、ホイスト降下訓練、
応急用機器開設訓練、本部機能移転訓練・・・等

○ 事件捜査訓練

人質立てこもり事件捜査訓練
身の代金目的誘拐事件捜査訓練
ハイジャック事件対応訓練
児童虐待事案対応訓練・・・等

年間30回以上実施



燃料搬送訓練



徒歩上山訓練
(体力錬成)



現場映像伝送訓練

高所作業訓練





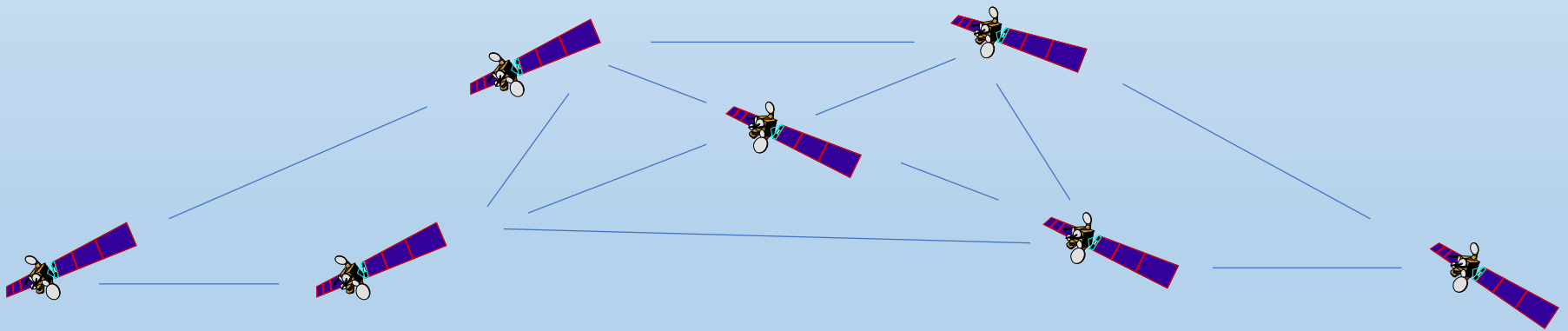
ホイス降下訓練





高速、大容量かつレジリエントな通信

衛星コンステレーション



ご静聴ありがとうございました



東北管区警察局
岩手県情報通信部